

2026年度 関東学生柔道優勝大会 大会要項 (男子73回 女子32回)

1. 大会名 2026年度 関東学生柔道優勝大会 (男子73回 女子32回)
2. 主催 (社)全日本学生柔道連盟、関東学生柔道連盟
3. 主管 関東学生柔道連盟
4. 後援 関東柔道連合会、千葉県柔道連盟
5. 期間 2026年5月31日(日)
開 場 8:00 開会式 10:00
試合開始 10:20
6. 場 所 埼玉県立武道館 上尾市日の出4-1877 TEL: 048-777-2400
7. 競技規則 (1)参加資格
 - ①(一社)全日本学生柔道連盟の法人正会員たる柔道部の在籍者であり、かつ(公財)全日本柔道連盟に登録した者。
 - ②関東の国公私立大学又は短期大学などに在籍の学生。
 - ③在学中、実業団その他の職域チームに属し、その試合に出場していない者。
 - ④本大会への選手登録回数が4回を超えない者(ただし医学部、歯学部、獣医学部および薬学部等の6年生学部・学科に所属する学生においては6回を超えない者)。
 - ⑤2年次においては、1年次の総修得単位が20単位以上の者。3年次においては、1年次および2年次の総修得単位が50単位以上の者。4年次においては、1年次2年次および3年次の総修得単位が80単位以上の者。但し、特例措置対象者を除く。(詳細については、単位取得制度運用説明資料を確認すること)
 - ⑥初心者の登録については、「全柔連発第19-0040 初心者の投込み、乱取りおよび試合までの期間について (<http://www.judo.or.jp/wp-content/uploads/2019/03/beginner-nagekomikikan201903.pdf>) にある「試合に出場するまでは、6ヶ月経過後」を遵守すること。
- (2)チーム編成
 - ①男子:1大学1チームとし、部長、監督、コーチ、主務各1名、選手12名以内とする。
 - ②女子:1大学1チームとし、女子1部は部長、監督、コーチ、主務各1名、選手57Kg以下3名・70Kg以下3名(57Kg以下エントリー可)・無差別2名の8名以内とする。
女子2部は部長、監督、コーチ、主務各1名、選手6名以内とする。
- (3)試合方法
 - ①男子:試合は各チーム7名の点取り式によるトーナメント戦で行い、各試合の選手配列は自由とする。
 - ②女子1部:5名の点取り式によるリーグ戦およびトーナメント戦とし、各試合の選手配列は、先鋒・次鋒は体重57Kg以下、中堅・副将は70Kg以下、大将は無差別とする。
 - ③女子2部:3名の点取り式によるトーナメント戦とし、体重無差別、選手

配列は自由とする。

- ④ 1回戦及び対戦校の確定している2回戦のオーダーは、9時、までに各試合場係へ提出すること。2回戦以降は、対戦校決定後10分以内に提出すること。10分経過後は、自動的に前回戦のオーダーとする。

(4) 審判規定

- ① (公財)全日本柔道連盟の定める、国際柔道連盟試合審判規定の団体戦の勝敗決定方法を準用する。
- ② 審判は1審制とし、ケアシステムによるビデオ確認を行う。
- ③ 判定基準は「有効」以上、または「反則負け」とする。
- ④ 勝敗の決定は、勝者の多い方を勝ちとする。また勝者同数の場合は内容差で決定する。前述の全てにおいて同一の場合は次のとおりとする。
- ・男子および女子2部は、各大学1名の代表選手を選出し、4分間の代表戦を行う。4分間で勝敗が決しない場合は、ゴールデンスコアにより勝敗を決する。代表戦において両者反則負け等で勝敗が決しなかった場合は、再度代表選手を選出し、代表戦を行う。
 - ・女子1部は、「引き分け」の階級の中から抽選で代表選手を選出し、ゴールデンスコアにより代表戦を行う。また上記代表戦において両者反則負け等で勝敗がつかなかった場合は、再度抽選により他の階級から代表選手を選出する。なお引き分けの階級がない場合は、両者反則負け等で勝敗が決していない階級の中から代表選手を選出する。
- ※上記代表戦はスコアをリセットして行う。
- また予選リーグにおいても代表戦を行い、各試合とも必ず勝敗を決する。
- ⑤ その他、詳細ルールについては最新のルールに則り運営する。

(5) 柔道衣

(公財)全日本柔道連盟柔道衣規定に合格した柔道衣(上衣、下穿、帯)を着用する。男子1部校と女子1部校出場校においてはブルー柔道衣を着用する。男子2部校、女子2部校は白柔道衣に紅白帯を着用する。なお紅白帯は、各大学で準備すること。

(6) ゼッケン

出場選手は必ず所定の所属ゼッケンを柔道衣につけること。
なおスポンサーゼッケン付きの柔道衣は認めない。

8. 全日本出場枠 <男子>

関東学生柔道連盟代表として10校を決定する。なお、1部8校と2部優勝校、準優勝校を代表校とし、1部最下位校と2部優勝校で入れ替え戦を行う。男子の入れ替え戦においては1部最下位校がブルー、2部優勝校が白柔道衣を着用し試合を行う。

<女子>

関東学生柔道連盟代表として11校を決定する。ただし、女子1部への出場校に優先的に振り分け、その残数を女子2部に振り分ける。
新規で5人制に出場しようとする場合、選手登録が5名以上であること。

9. 選手計量

女子1部出場校の先鋒・次鋒・中堅・副将出場者は計量を行う。

場所：埼玉県立武道館第2会議室

時間：2026年5月30日(土)

予備計量：16:00~16:30

公式計量：16:30~17:00

※申し込み時に当日計量許可願いを提出し受理された者は、試合当日の午前8:10~8:30時より公式計量を認めることとする。

なお提出については所定のフォーマットを使用すること。

10. 表彰 (1) 男子1部、2部、女子1部、2部ともに優勝校、準優勝校、第三位校(2校)を表彰する。
(2) 技術優秀選手(男子・女子2部は4名、女子1部は2名)を表彰する。
11. 審判員 審判員は、(公財)全日本柔道連盟公認審判員ライセンス保持者を各大学に依頼する。人数が十分ではない場合は、外部委託を行う。審判会議は9時30分より埼玉県立武道館内第1会議室において行う。
※審判講習会に関しては、準備ができ次第関東学連HPにて掲載いたします。
12. コーチングについて
従来どおり、コーチングボックスを設置するが、選手の自主性を重んじ、指定された範囲内でのコーチングに厳に慎むこと。
13. 参加申込み
(1) 申込先
当連盟HPより大会申込データをダウンロードする。必要事項を漏れなく入力し、以下のアドレスまで送信する。
申込アドレス：s.okuda@seiwa-univ.ac.jp 関東学生柔道連盟事務局 宛
(2) 申込締切日
2026年4月24日(金)~4月29日(水)17時までの間とし期間外の申込みは受け付けない。
(3) 申込方法
参加申込責任者は各大学の監督とし、関東学生柔道連盟のホームページ<http://kujf.jp>から2026年度関東学生優勝大会参加申込用紙と単位修得報告書をダウンロードし、必要事項を記入の上s.okuda@seiwa-univ.ac.jpまでメールで送付する。単位修得報告書については、関東学連主催大会においては、データのみで受理する。(本人サインおよび指導者押印の免除)
(4) 参加費
1チームにつき¥15,000とする(男女参加の場合は¥30,000)。併せて傷害保険料として100円を選手1名につき徴収する。
各大学は、合計した金額を**5月2日(土)**までに下記口座へ必ず大学名で振り込むこと。尚、振り込みの確認が出来ない場合は、本大会への参加は認めない。
<振込先>
銀行名：PayPay銀行 ビジネス営業部
普通 3235437 関東学生柔道連盟会計 今井 学
(カントウガクセイジユウドウレンメイ カイケイ イマイマナブ)
また2026納入金内訳データを必要事項記入の上、関東学生柔道連盟会計担当：帝京平成大学 内田暁(a.uchida@thu.ac.jp)まで**大会申込送付とは別にメールで送付すること。(5月2日(土)まで)**
(5) 選手変更
選手変更は、**代表者会議開始前までとし、所定のフォーマットで行うものとする。**
14. 組み合わせ **5月2日(土)13時より、清和大学短期大学部進路指導室において関東学生柔道連盟役員立ち会いのもとオンラインで抽選を実施する。**
15. 代表者会議 代表者会議を**5月30日(金)17時より埼玉県立武道館内第1会議室にて行う。**

なおオンラインでも実施するため、各大学の代表者は現地参加またはオンライン参加のどちらかで参加をすること。

16. 事故処理

主催者は、大会出場選手の傷害に対して、傷害保険に加入し、負傷の際には応急処置を施すが、それ以外の責任は負わない。なお、選手は、当日保険証（コピー不可）を必ず持参すること。

17. 大会事務局

〒292-8555

千葉県木更津市東太田 3-4-5

清和大学内 関東学生柔道連盟事務局 担当 奥田修平

TEL : 0438-30-5555 (大学代表)

E-mail : s.okuda@seiwa-univ.ac.jp

18. その他

《皮膚真菌症について》

皮膚真菌症（トングランス感染症）については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認する。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行う。選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場を禁止する。（ただし、2週間以内の治療証明書がある場合は、出場を認める）

《脳震盪について》

- ・大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
- ・大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする（至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること。）
- ・練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- ・当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

19. 事務連絡

《会場設営・撤収について》

- 1) 5月30日（金）13時より会場設営、大会終了後には撤収作業を行う。各大学の協力を願いたい。なお会場近隣大学には別途連絡の上、人数を割り当てる場合がある。また大会終了後に理事会を開催している場合、理事・事務局は撤収作業にあたれないため、引率の先生方については指示出しなど担当を依頼する。
- 2) 男子1部所属大学および女子1部所属大学の中で、各大学1名の学生委員の派遣を依頼する。派遣される学生委員は「可能な限り前日準備および会場撤収まで担当する」こと。

《個人情報取り扱いについて》

提出された単位修得報告書については、関東学生柔道連盟事務局が大会参加資格の確認以外に使用しない。また、事務局内にて厳重に管理する。

以上